

科目ナンバー	TCP-3-011-ky	科目名	英語科教育法Ⅱ		
教員名	藤枝 豊	開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	<p>本講義では中学校外国語(英語)指導に関する知識を深め、中学英語教育の指導と評価を身につける。まず英語教育の軸となる学習指導要領を通覧し、中学英語教育の目的を理解する。そして年間指導計画、単元計画、指導計画について理解し、実際に想定した学年と指導項目を想定し、単元、指導計画などの作成を行う。指導法に関しては、第二言語習得論や第二言語教育論の概要を学び、指導法や課題作成及び活動に応用させる。「聞く・話す(発表とやりとり)・読む・書く」の5技能を踏まえた実践案をクラスメートとの意見交換を通じて考察する。またALTとの協働方法や情報機器を使用した授業案も作成する。講義で実施される模擬授業を通じて、英語での授業を念頭に置きながら想定した授業ができるようにする。最後に、学習評価設定、評定への総括方法を考える。教科法講義を通じて、自分自身の英語教育の取り組みを内省し、常に新しい英語指導を発案できる態度を育成する。</p> <p>※本講義は半期授業となります。</p>				
到達目標	<p>中学校学習指導要領の外国語(英語)教育の目的・目標・位置づけを理解することができる。英語教育に必要な理論の概要を学び、自分自身が考える課題や教室内での活動に生かし、指導法を考えることができる。特にコミュニケーション能力育成を目指した観点から、5技能(読む、書く、聞く、発表、会話のやりとり)を伸ばす指導案を作成することができる。また単元・評価計画から、評価の総括方法を理解することができる。</p>				
「共愛12の力」との対応					
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○
教授法及び課題のフィードバック方法	<p>本講義では、グループワーク、個人発表(模擬授業)、レポート提出が義務付けられています。グループワークは、テキストの内容について意見交換し、英語指導について議論を深めます。模擬授業では、各自で教科書と対象学年とクラス設定をし、約20分程度のレッスンデモンストレーションを行います。模擬授業の様子はビデオ録画され、未公開のYouTubeからフィードバックを与えます。レポートはテキストの読書課題をmoodleに提出し、評価およびコメントをつけて返却します。</p>				
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	<p>TOEIC530点以上を取得済であること。 中学校英語免許状取得希望の者</p>				
アセスメントポリシー及び評価方法	<p>Teacher beliefレポート 10% 自身の教育的理念や信念をまとめた英語レポート Discussion forum 10% 与えられたテーマに関する意見交換をmoodleで実施 読書課題とレポート 20% 読書課題とその感想文 小テスト 20% 英語教育に関する小テストをmoodleで実施 模擬授業と評価 30% 模擬授業とクラスメートの模擬授業評価 期末レポート 10% 授業全体に関する内省レポート</p>				
教材	<p>中学校学習指導要領解説外国語編・英語編(文部科学省) 高等学校学習指導要領解説外国語編・英語編(文部科学省) 岡秀夫「新・グローバル時代の英語教育: 新学習指導要領に対応した英語科教育法」(2020) 松柏社</p>				
参考図書	<p>岡田圭子(他)「基礎から学ぶ英語科教育法」松柏社 多胡美由紀「生徒をアクティブ・ラーナーにする! 英語で行う英語授業のルール&活動アイデア」明治図書出版</p>				
内容・スケジュール					
1週目					
授業学修内容	中学校英語教育の概要(中学校英語で求められるもの)				
授業外学修内容	中学校英語教育の概要			時間数	3
2週目					

授業学修内容	学習指導要領 中学校英語での授業実践を考える		
授業外学修内容	学習指導要領 中学校英語	時間数	3
3週目			
授業学修内容	学習指導案の書き方を学ぶ		
授業外学修内容	学習指導案の書き方を学ぶ	時間数	3
4週目			
授業学修内容	Communicative Language Teaching/Oral Approach/Grammar Translation Method		
授業外学修内容	英語教授法について	時間数	3
5週目			
授業学修内容	授業をどう構成するか・言語教材とは		
授業外学修内容	授業をどう構成するか・言語教材選び	時間数	3
6週目			
授業学修内容	情報機器とメディア教材の使い方		
授業外学修内容	情報機器とメディア教材の使い方	時間数	3
7週目			
授業学修内容	クラスルームマネジメントを考える		
授業外学修内容	教室運営を考える	時間数	3
8週目			
授業学修内容	聞くこと・話すことをどう指導するか・クラスルーム英語表現		
授業外学修内容	聞くこと・話すことをどう指導するか・クラスルーム英語表現	時間数	3
9週目			
授業学修内容	読むこと・書くことをどう指導するか・クラスルーム英語表現		
授業外学修内容	読むこと・書くことをどう指導するか・クラスルーム英語表現	時間数	3
10週目			
授業学修内容	模擬授業準備と教材作成		
授業外学修内容	模擬授業準備と教材作成	時間数	3
11週目			
授業学修内容	英語授業実践1(聞く能力を伸ばす実践)		
授業外学修内容	模擬授業のフィードバック	時間数	3
12週目			
授業学修内容	英語授業実践2(やり取りを行う話す能力を伸ばす実践)		
授業外学修内容	模擬授業のフィードバック	時間数	3
13週目			
授業学修内容	英語授業実践3(発表をする話す能力を伸ばす実践)		
授業外学修内容	模擬授業のフィードバック	時間数	3
14週目			
授業学修内容	英語授業実践4(読む能力を伸ばす実践)		
授業外学修内容	模擬授業のフィードバック	時間数	3
15週目			

授業学修内容	英語授業実践5(書く能力を伸ばす実践)		
授業外学修内容	模擬授業のフィードバック	時間数	3
上記の授業外学修時間の合計		45	
その他に必要な自習時間		45	

Number	TCP-3-011-ky	Subject	Teaching Methodology (English) II		
Name	藤枝 豊 (Fujieda Yutaka)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>This course surveys current theory and practice in teaching English to second language (L2) and foreign language learners and includes innovative approaches, design, and procedures for teaching at the secondary school level. The primary purpose of this class is to bridge theory and practice (praxis) and to critically examine and construct traditional normative issues in L2 teaching and teacher education fields. Through readings, in-class discussions, and praxis demonstration, we will examine how critical perspectives have come to transform the paths for transnational English language teaching and teacher education.</p>				